

富山県感染症発生動向速報

(2026年第7週分・2月9日～2月15日)

■今週の主な動向

○インフルエンザ報告数（29.89人/定点）、B型検出割合（86.3%）は増加傾向が続いています。

小中学生の小児および30～40歳代を中心にB型インフルエンザによる感染が拡大している可能性が考えられます。引き続き、手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。（[インフルエンザの疫学所見](#)）

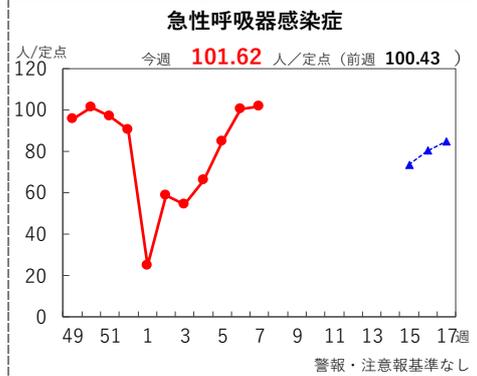
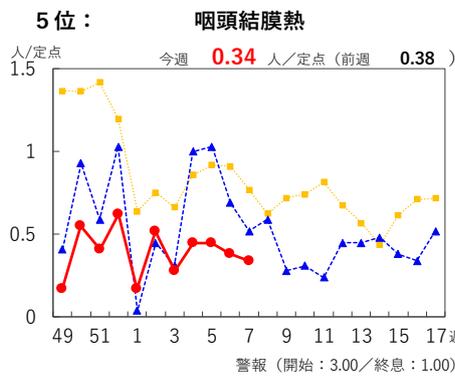
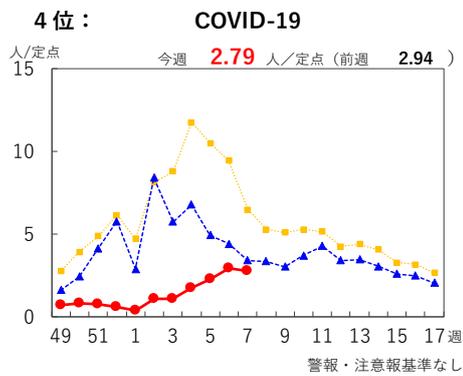
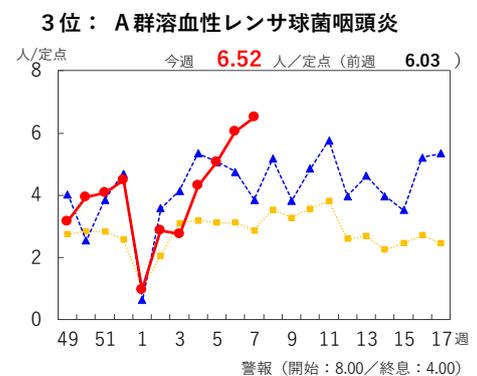
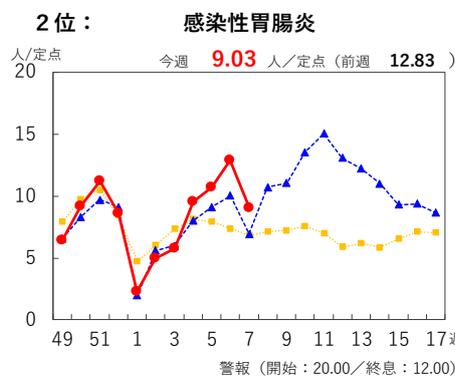
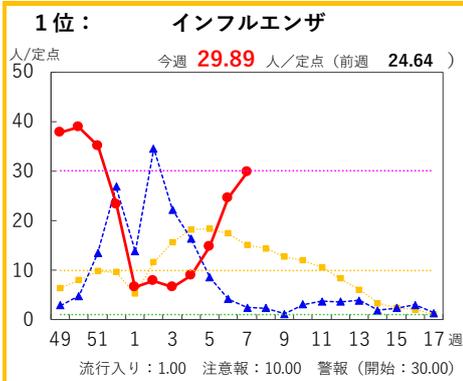
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が例年より多くなっています。

5歳前後の小児を中心に、例年冬から春にかけて報告数が多くなる傾向があります。感染予防のために、手洗いや咳エチケットを心がけましょう。（[第2週インフォメーション参照](#)）

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患＋急性呼吸器感染症（第7週・2/9～2/15）

注意報

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

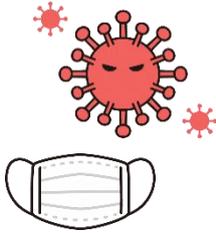
二類感染症 結核 3件（①第6週診断分：20歳代、女性 ②20歳代、男性 ③90歳以上、女性）

四類感染症 レジオネラ症 1件（70歳代、男性、肺炎型）

五類感染症 急性脳炎 1件（10歳未満、男性）

侵襲性肺炎球菌感染症 2件（①50歳代、女性 ②80歳代、男性）





感染者数増加傾向 新型コロナウイルス感染症

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

全国の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の患者報告数は、2026年第2週から増加傾向となり、第6週に2.71人/定点の報告がありました（図赤点線）。富山県では全国と同様、第2週から増加傾向となり、今週（第7週）の報告数は2.79人/定点になりました（図赤実線）。

2026年第1～7週の患者報告数は、2024年、2025年と比較して、全国・富山県ともに0～3人/定点程度の低い水準で緩やかに増加しています。

県内の基幹定点医療機関から報告される入院サーベイランスでは、今週8例が報告されています。全国でも高齢者を中心にCOVID-19による入院数は増加しており、重症化リスクはインフルエンザと同等かそれ以上と考えられています [1]。

国内で検出された新型コロナウイルスのゲノム解析では、NB.1.8.1株（通称ニンバス）^{※1}とその亜系統が大多数であり、2025年12月に検出された新型コロナウイルスゲノムの82.0%を占めています（[JIHS、新型コロナウイルスゲノムサーベイランスによる全国の系統別検出状況](#)）。県内でもニンバスとその亜系統であるPQ系統が流行の主流となっています（[富山県／新型コロナウイルスゲノム解析検査状況](#)）。

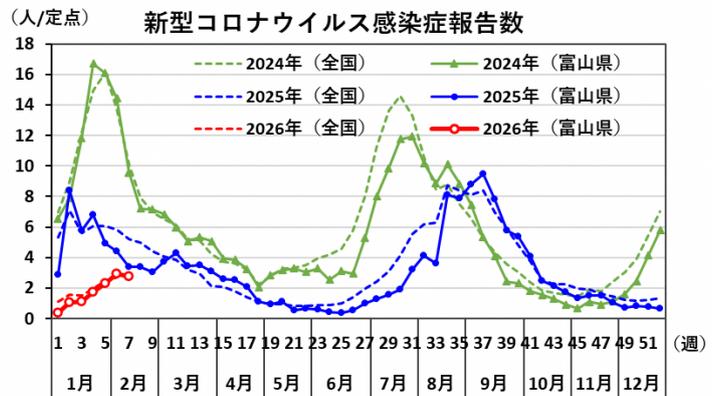
今年度はオミクロン株のJN.1系統であるLP.8.1やXECに対応したmRNAワクチンまたは組換えタンパクワクチンを接種できます。昨年度に用いられたJN.1系統対応ワクチンに関して、新型コロナウイルス感染症による入院を約45～70%程度予防した等、重症化予防効果が国内外で報告されています。現在国内で多く検出されるニンバス株に対しても効果が期待されます（[厚生労働省/新型コロナワクチン定期接種のご案内](#)）。ワクチンの効果は接種後数ヶ月で減衰することから、今年度も新たな変異株に対応したワクチン接種が必要です。高齢者では、ワクチンの副反応は接種部位の痛みや軽い発熱等が大半で、数日で軽快します [1]。定期接種^{※2}の対象者及びハイリスクとなる基礎疾患のある方はワクチン接種をご検討ください。

COVID-19は、発症後5日を経過し、かつ、症状軽快後1日を経過するまでは、外出を控えることが推奨されています。発症後10日間はウイルス排出の可能性があることから、不織布マスクの着用や、高齢者との接触を控える等、感染予防に配慮しましょう。また、「咳エチケット」「手洗い（手指消毒）」「換気」など基本的な感染対策を心がけましょう。

[1] [2025年度の新型コロナワクチン定期接種に関する見解](#)より引用

※1 オミクロンXDV系統（XDE系統とJN.1系統の組換え体）の派生株

※2 一部の市町村では定期接種の実施期間が終了しているところもありますが、任意での接種が可能な場合もありますので、希望される方はかかりつけ医療機関等にお問い合わせください。



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第7週 2026年2月9日～2026年2月15日）

分類	疾患	今週報告分（第7週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核				2	2			4	1	6	11	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く				2	2			2	1	4	7	
	四類感染症	レジオネラ症				1	1	1			1	1	3	
	五類感染症	急性脳炎	1					1	1				1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症											2	2
		侵襲性インフルエンザ菌感染症											1	1
		侵襲性肺炎球菌感染症			1		1	2			1		1	2
梅毒									2			2	4	
百日咳							1				6	7		
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点（47定点）	急性呼吸器感染症（※1）	467	397	1,536	417	1,959	4,776	2,539	1,956	7,293	2,111	8,978	22,877
			66.71	79.40	118.15	59.57	130.60	101.62						
		インフルエンザ	158	68	435	143	601	1,405	675	271	1,436	537	1,694	4,613
		22.57	13.60	33.46	20.43	40.07	29.89							
	COVID-19	29	13	33	10	46	131	140	78	104	42	214	578	
		4.14	2.60	2.54	1.43	3.07	2.79							
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1	2			3	6	15	2	22	1	16	56
			0.25	0.67			0.30	0.21						
		咽頭結膜熱	3		5		2	10	14	3	32		25	74
			0.75		0.63		0.20	0.34						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	14	77	11	82	189	42	58	330	55	337	822
			1.25	4.67	9.63	2.75	8.20	6.52						
		感染性胃腸炎	30	35	55	8	134	262	176	150	371	82	808	1,587
			7.50	11.67	6.88	2.00	13.40	9.03						
		水痘			1		1	2		3	19	4	34	60
					0.13		0.10	0.07						
		手足口病									1		1	2
		伝染性紅斑			1			1	1		12	4	8	25
				0.13			0.03							
	突発性発しん		1	7		2	10	3	6	19	4	18	50	
			0.33	0.88		0.20	0.34							
	ヘルパンギーナ	1					1	10					10	
		0.25					0.03							
	流行性耳下腺炎	1					1	1				3	4	
		0.25					0.03							
	眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎	2					2	2	1			3	
	2.00						0.29							
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎											1	1	
	マイコプラズマ肺炎					1	1	5		1	2	2	10	
						1.00	0.20							
	クラミジア肺炎										1		1	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1	1		2		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）	3			1	3	7	41	41	41	31	86	240	
	COVID-19による入院患者	4	1	1	1	1	8	7	11	3	2	16	39	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、B型が86.3%となっています。

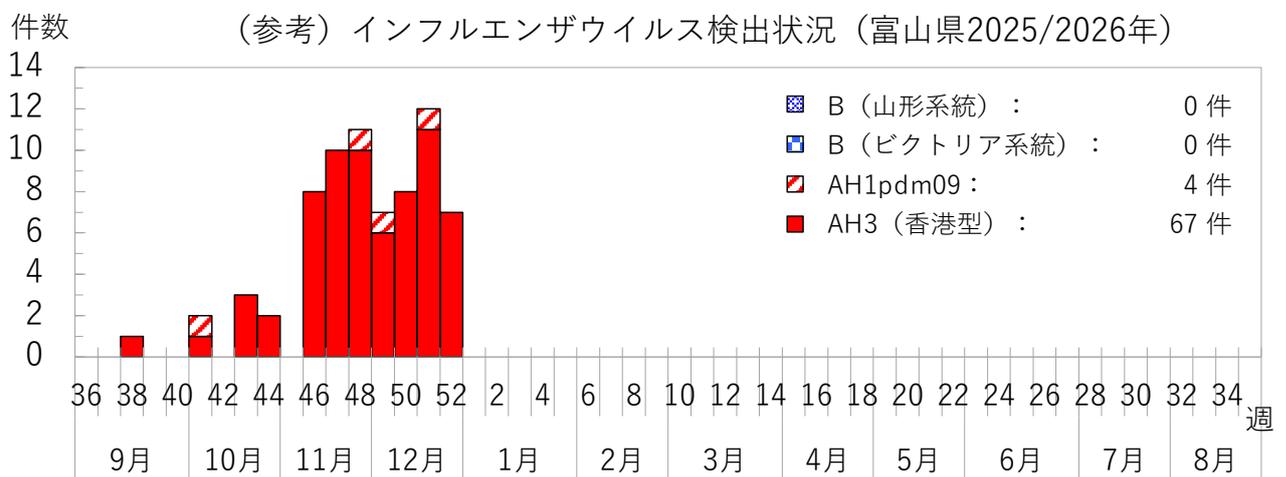
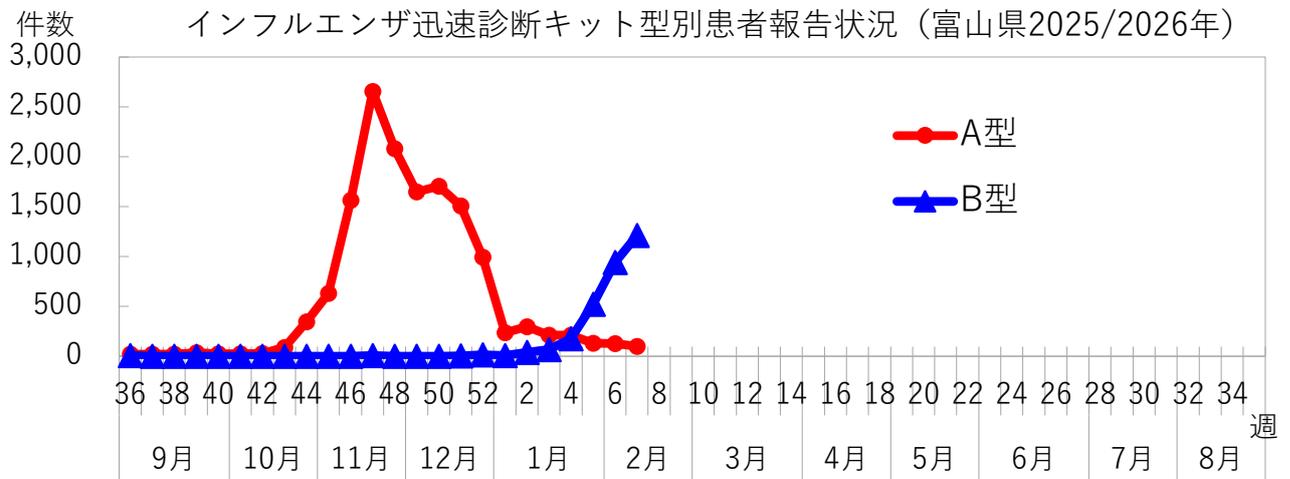
第7週（2/9～2/15）：富山県 29.89人/定点

（単位：件）

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	27	127	4	158
中部	5 / 5	5	53	10	68
高岡	12 / 13	10	384	41	435
砺波	7 / 7	1	140	2	143
富山市	14 / 15	57	508	36	601
富山県	45 / 47 ^{※1}	100	1,212	93	1,405
富山県累計（2025年36週～）		14,719	3,017	1,493	19,229

※1 47の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が45か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。

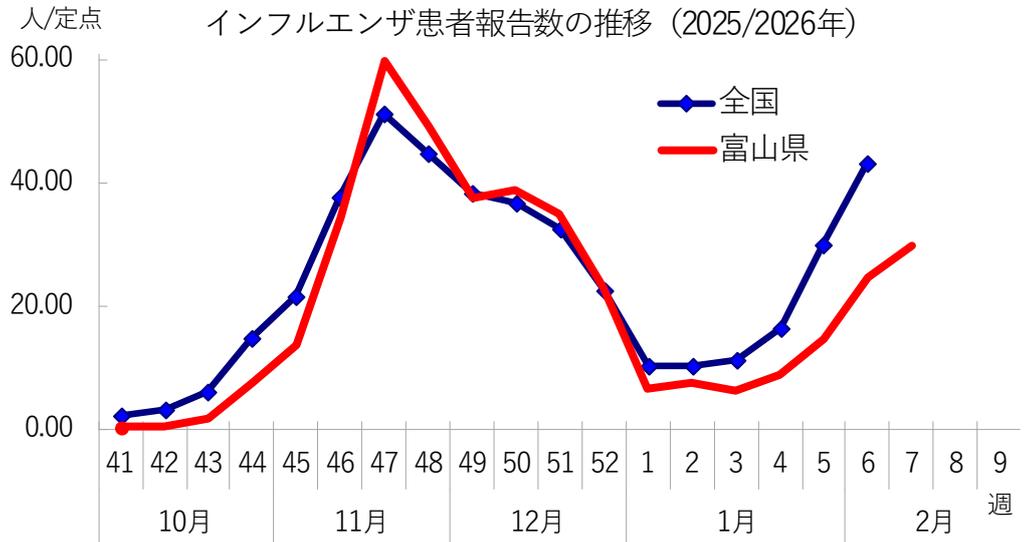


インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第7週（2/9～2/15）

富山県 29.89人/定点 [新川（22.57）、中部（13.60）、高岡（33.46）、砺波（20.43）、富山市（40.07）]

今週の県内の患者報告数は、29.89人/定点となり、先週（24.64）より増加しました。

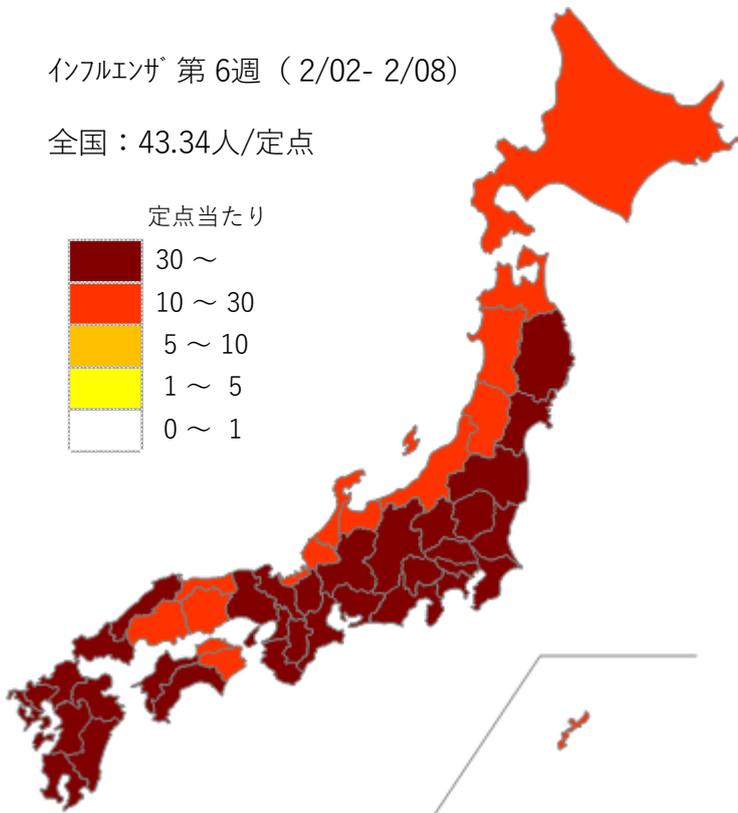
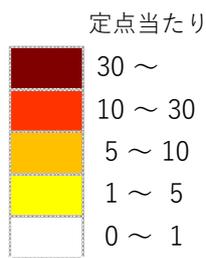


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第6週（2/2～2/8）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり43.34人となり、前週の30.03人より増加しました。46都道府県で前週より増加しています。1県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第6週（2/02- 2/08）

全国：43.34人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	16.68 ↑	滋賀県	30.00 ↑
青森県	23.94 ↑	京都府	40.06 ↑
岩手県	37.00 ↑	大阪府	31.05 ↑
宮城県	60.82 ↑	兵庫県	49.34 ↑
秋田県	25.76 ↑	奈良県	48.24 ↑
山形県	29.28 ↑	和歌山県	36.42 ↑
福島県	53.23 ↑	鳥取県	15.24 ↑
茨城県	55.03 ↑	島根県	37.00 ↑
栃木県	58.40 ↑	岡山県	27.52 ↑
群馬県	31.13 ↑	広島県	25.20 ↑
埼玉県	60.17 ↑	山口県	43.79 ↑
千葉県	62.69 ↑	徳島県	28.00 ↑
東京都	39.39 ↑	香川県	14.87 ↑
神奈川県	55.76 ↑	愛媛県	61.62 ↑
新潟県	26.40 ↑	高知県	31.42 ↑
富山県	24.64 ↑	福岡県	46.83 ↑
石川県	18.57 ↑	佐賀県	39.25 ↑
福井県	20.31 ↑	長崎県	54.59 ↑
山梨県	60.23 ↑	熊本県	52.21 ↑
長野県	35.76 ↑	大分県	69.67 ↑
岐阜県	35.87 ↑	宮崎県	56.93 ↑
静岡県	56.00 ↑	鹿児島県	74.82 ↑
愛知県	55.28 ↑	沖縄県	18.49 ↓
三重県	53.38 ↑	全国	43.34 ↑

